

【基礎／社会合同ワークショップ】

■日時：12月3日（水） 17:50～19:50

■会場：第4会場（大阪国際会議場
10F 1009）

WS1 基礎／社会：HIV感染の疫学

座長 武部 豊

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

市川誠一

(名古屋市立大学 看護学部)

WS1-001 日本初のHIV陽性者対象の大規模ウェブ調査「Futures Japan HIV陽性者のためのウェブ調査」～新たに誰のボイスを拾うことができたのか～

井上洋士

放送大学教養学部

WS1-002 急速な病期進行をみた感染初期例群に共通して検出された新規変異HIV-1の流行実態

森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、川畑拓也¹⁾、
駒野 淳²⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2) 国立病院機構名古屋医療センター統括診療部

WS1-003 日本で検出したHIV-1組換え型流行株の解析

近藤真規子¹⁾、佐野貴子¹⁾、椎野禎一郎²⁾、
井戸田一朗³⁾、山中 晃⁴⁾、岩室紳也⁵⁾、
吉村幸浩⁶⁾、立川夏夫⁶⁾、今井光信⁷⁾、
武部 豊⁸⁾、加藤真吾⁹⁾

1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) 国立感染症研究所感染症疫学センター
3) しらかば診療所
4) 新宿東口クリニック
5) 厚木市立病院
6) 横浜市立市民病院
7) 田園調布学園大学
8) 国立感染症研究所エイズ研究センター
9) 慶應義塾大学医学部

WS1-004 国内感染者集団の大規模塩基配列解析5：MSMコミュニティへのサブタイプB感染の動態

椎野禎一郎¹⁾、服部純子²⁾、瀧永博³⁾、
吉田 繁⁴⁾、石ヶ坪良明⁵⁾、近藤真規子⁶⁾、
貞升健志⁷⁾、横幕能行²⁾、古賀道子⁸⁾、
上田幹夫⁹⁾、田邊嘉也¹⁰⁾、渡邊 大¹¹⁾、
森 治代¹²⁾、南 留美¹³⁾、健山正男¹⁴⁾、
杉浦 互²⁾

1) 国立感染症研究所 感染症疫学センター
2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
3) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
4) 北海道大学
5) 横浜市立大学
6) 神奈川県衛生研究所
7) 東京都健康安全研究センター
8) 東京大学医科学研究所
9) 石川県立中央病院
10) 新潟大学医歯学総合病院
11) (独)大阪医療センター
12) 大阪府立公衆衛生研究所
13) (独)九州医療センター
14) 琉球大学

WS1-005 ハッテン場におけるHIV感染リスク低減に向けた意識行動調査（第2報）

井戸田一朗^{1,2)}、星野慎二¹⁾、佐野貴子³⁾、
近藤真規子³⁾、金子典代⁴⁾

1) 特定非営利活動法人SHIP
2) しらかば診療所
3) 神奈川県衛生研究所微生物部
4) 名古屋市立大学看護学部

WS1-006 男性同性愛者（MSM）間のHIV-1流行の国際的感染ネットワークの解明へ向けて：我が国-中国-世界流行間のこれまで明らかにされてこなかった相互関係について

武部 豊¹⁾、内藤雄樹²⁾、草川 茂¹⁾、
加藤真吾³⁾、俣野哲朗¹⁾、近藤真規子⁴⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) ライフサイエンス統合データベースセンター
3) 慶応大学医学部微生物・免疫学部
4) 神奈川県衛生研究所 微生物部

WS1-007 MSMを対象とした情報の集約・発信のハブ的装置としてのコミュニティセンター akta

荒木順子^{1,2)}、佐久間久弘^{1,2)}、木南拓也^{1,2)}、
岩橋恒太^{1,3)}、大島 岳^{1,2)}、柴田 恵¹⁾、
阿部甚兵¹⁾、金子典代³⁾、塩野徳史³⁾、
市川誠一³⁾

1) 特定非営利活動法人akta
2) 公益財団法人エイズ予防財団
3) 名古屋市立大学看護学研究科国際保健看護学

ワークショップ

WS1-008 MSMにおけるHIV感染リスク行動とその関連要因

日高庸晴

宝塚大学看護学部

【ワークショップ】

■日時：12月4日（木） 11:00～12:00

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS2 臨床：悪性腫瘍

座長 萩原将太郎

（国立国際医療研究センター）

高田清式

（愛媛大学 医学部附属病院 総合臨床研修センター）

WS2-009 当科における原発性脳悪性リンパ腫の治療戦略-自験6症例から学んだこと-

小泉祐介、古屋 彩、奥野貴史、南口仁志、
程原佳子、安藤 朗、藤山佳秀

滋賀医科大学消化器・血液内科

WS2-010 HIV感染症に合併したMALTリンパ腫の2例

古畑匡規¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、
柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、味澤 篤³⁾、
今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都立保険医療公社豊島病院

WS2-011 HIV感染者におけるanal intraepithelial neoplasiaの内視鏡診断

藤原 崇¹⁾、小泉浩一¹⁾、堀口慎一郎²⁾、
高橋雅恵²⁾、今村顕史³⁾

- 1) がん・感染症センター駒込病院 消化器内科
- 2) がん・感染症センター駒込病院 病理科
- 3) がん・感染症センター駒込病院 感染症科

WS2-012 HIV感染者の口腔前癌病変発症リスクの検討

筑丸 寛¹⁾、大久保牧子¹⁾、上田敦久²⁾、
白井 輝²⁾、竹林早苗³⁾、松山奈央³⁾、
石川好美⁴⁾、金子明寛⁵⁾、太田嘉英⁵⁾、
石ヶ坪良明²⁾、藤内 祝¹⁾

- 1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学
- 2) 横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学
- 3) 横浜市立大学附属病院 看護部
- 4) 藤沢市民病院 歯科口腔外科
- 5) 東海大学医学部 外科学系口腔外科学

■日時：12月4日（木） 10:40～12:10

■会場：第6会場（大阪国際会議場
12F 1202）

WS3 基礎：ウイルスと宿主因子

座長 岩谷靖雅

（国立病院機構 名古屋医療センター）

武内寛明

（東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学）

WS3-013 HIV-1感染マクロファージからのナノチューブ形成促進機構

鈴 伸也、Bhuyan Farzana、橋本倫拓、
Nasser Hesham、日吉真照

熊本大学 エイズ学研究センター
国際先端医学研究拠点施設

WS3-014 CBFβはMDM2によるVifの分解を阻害することでVifを安定化する

松井佑亮、新堂啓祐、永田佳代子、吉永則良、
丸山 互、白川康太郎、小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科

WS3-015 HIV-1 VifにおけるAPOBEC3C/F結合インターフェース

大出裕高¹⁾、中島雅晶^{1,2)}、河村高志³⁾、
北村紳悟^{1,2)}、長縄由里子¹⁾、黒澤哲平^{1,2)}、
真野由有^{1,2)}、粟津宏昭^{1,2)}、松岡和弘¹⁾、
横幕能行¹⁾、渡邊信久^{2,3)}、杉浦 互^{1,4)}、
岩谷靖雅^{1,4)}

- 1) (独) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学 大学院工学研究科
- 3) 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター
- 4) 名古屋大学 大学院医学系研究科

WS3-016 細胞内抑制因子TRIM5によるレトロウイルスのキャプシドの認識；もう一つの因子Fv1との比較

大倉定之^{1,2)}、Jonathan Stoye²⁾、高橋秀実¹⁾

- 1) 日本医科大学 微生物学免疫学教室
- 2) Division of Virology, MRC National Institute for Medical Research

WS3-017 ヒトRNA輸送TREX-2因子GANPのHIV-1抵抗性の分子機序

前田和彦¹⁾、Almofty Sarah Ameen¹⁾、
下田真唯子¹⁾、Singh Shailendra Kumar¹⁾、
Eid Mohammed Mansour Abbas¹⁾、
池田輝政²⁾、川畑輝哉¹⁾、小糸 厚²⁾、
阪口薫雄¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部感染免疫学講座
免疫学分野
2) 熊本大学大学院生命科学研究部感染制御学

WS3-018 新規宿主因子MARCH8によるHIV-1エンベロープ蛋白のダウンレギュレーション

多田卓哉¹⁾、張 延昭^{1,2)}、小山貴芳¹⁾、
山岡昇司²⁾、藤田英明³⁾、徳永研三¹⁾

1) 国立感染症研究所 感染病理部
2) 東京医科歯科大学 ウイルス制御学分野
3) 長崎国際大学 薬学部 機能形態学

■日時：12月5日（金） 9:00～10:00

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS4 臨床：認知障害

座長 村井俊哉

（京都大学大学院医学研究科 精神医学）

山本政弘

（国立病院機構 九州医療センター）

WS4-019 認知機能低下が疑われた患者における認知障害の関連因子の検討

仲里 愛^{1,2)}、木内 英¹⁾、渡邊愛祈^{1,2)}、
小松賢亮^{1,2)}、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、
小林泰一郎¹⁾、柳川泰昭¹⁾、水島大輔¹⁾、
源河いくみ¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、
田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、塚田訓久¹⁾、
瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター
エイズ治療研究・開発センター
2) エイズ予防財団 リサーチレジデント

WS4-020 米国におけるHAND診断のためのタッチパネル型神経心理検査バッテリーの開発

坂本麻衣子^{1,2)}、Marcotte Thomas²⁾、
Deutsch Reena²⁾、Hendrix Terence²⁾、
Severson Joan³⁾、Cosman Josh³⁾、
Merickel Michael³⁾、Heaton Robert²⁾、
Grant Igor²⁾

1) 佐賀大学医学部
2) University of California, San Diego,
HIV Neurobehavioral Research Program
3) Digital Artefacts, LLC

WS4-021 HIV患者の認知機能低下と炎症性サイトカインの解析

郭 悠、辻麻理子、阪木淳子、曾我真千恵、
城崎真弓、長與由紀子、高濱宗一郎、
中嶋恵理子、南 留美、山本政弘

NHO九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター

WS4-022 HIV関連神経認知障害（HAND）および他神経疾患における髄液中のネオプテリン量の測定と比較

高田清式¹⁾、村上雄一²⁾、末盛浩一郎²⁾、
中西英元²⁾、辻井智明³⁾、西川典子³⁾、
木村博史⁴⁾、井門敬子⁴⁾、藤原光子⁵⁾、
中村真理子⁵⁾、中尾 綾²⁾、小野恵子⁶⁾、
若松 綾⁶⁾

1) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
2) 第一内科
3) 薬物療法・神経内科
4) 薬剤部
5) 看護部
6) 総合医療サポートセンター

ワークショップ

■日時：12月5日（金） 10:10～11:10

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS5 臨床：重複感染

座長 三田英治

（国立病院機構 大阪医療センター）

上平朝子

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科）

■日時：12月5日（金） 11:20～12:20

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS6 臨床：治療困難例

座長 味澤 篤

（東京都保健医療公社 豊島病院）

小泉祐介

（滋賀医科大学附属病院 血液内科）

WS5-023 HIVとHCVの重複感染を有する血友病患者における、複数の遺伝子型のHCVバリエーションの潜在的な混合感染に関する次世代シーケンサーを用いた検討

大岸誠人¹⁾、四柳 宏¹⁾、堤 武也¹⁾、
瀧永博之²⁾、森屋恭爾³⁾、小池和彦⁴⁾

- 1) 東京大学医学部感染症内科
- 2) 国立国際医療研究センター
エイズ治療研究開発センター
- 3) 東京大学医学部附属病院感染制御部
- 4) 東京大学医学部消化器内科

WS5-024 大阪医療センターにおけるHIV/HCV重複感染患者の解析

笠井大介、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、
小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、
上平朝子、白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

WS5-025 血友病HIV感染者における肝炎ウィルス（C型、B型、D型）重複感染症の治療

花房秀次、長尾 梓、和田育子、前川嘉世、
小島賢一

荻窪病院 血液科

WS5-026 HIV/HBV genotype G/A2 共感染症例の治療経過

安達英輔¹⁾、児玉華子²⁾、清水清香³⁾、
古川龍太郎¹⁾、大亀路生⁴⁾、佐藤秀憲⁴⁾、
菊地 正⁴⁾、古賀道子⁴⁾、中村仁美⁴⁾、
宮崎菜穂子¹⁾、杉山真也⁵⁾、溝上雅史⁵⁾、
鯉淵智彦¹⁾、岩本愛吉^{1,4)}

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 北里大学病院 膠原病・感染内科
- 3) 北里大学北里研究所病院 肝臓病センター
- 4) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 5) 国立国際医療研究センター
研究所肝炎・免疫研究センター 肝疾患研究部

WS6-027 Darunavirを含む治療時に持続する低レベルの血中HIV-RNAを検出する症例に関する影響因子の探索

榎田宏幸¹⁾、富島公介¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、
廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、
矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、
西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
薬剤科
- 2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
感染症内科

WS6-028 広島大学病院における中枢神経病変合併HIV感染者の現状と課題

齊藤誠司^{1,3)}、木下一枝²⁾、小川良子³⁾、
喜花伸子³⁾、浅井いづみ³⁾、塚本弥生³⁾、
藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、畝井浩子⁴⁾、
山崎尚也^{1,3)}、藤井輝久^{1,3)}、高田 昇⁵⁾

- 1) 広島大学病院 輸血部
- 2) 広島大学病院 看護部
- 3) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院 薬剤部
- 5) 広島文化学園大学 看護学部

WS6-029 難治症例に対する訪問診療を通じて見えてきたエイズ診療担当医が患者自宅の訪問診療をする意義

椎木創一¹⁾、向井三穂子²⁾、呉屋多恵子³⁾、
赤嶺一姫³⁾、谷口智宏¹⁾、高山義浩¹⁾、
喜舎場利恵⁴⁾、与那覇愛⁴⁾

- 1) 沖縄県立中部病院 感染症内科
- 2) 同 看護部
- 3) 同 薬局
- 4) 同 地域連携室

WS6-030 HIV陽性者におけるPET (positron emission tomography) 検査に関する後方視的検討

小川吉彦¹⁾、廣田和之¹⁾、伊熊素子¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、笠井大介¹⁾、渡邊大¹⁾、
西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、岡田誠治²⁾、
白阪琢磨¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター

■日時：12月5日(金) 9:00～10:00

■会場：第5会場(大阪国際会議場
12F 特別会議場)

WS7 基礎：新薬開発の最前線

座長 馬場昌範

(鹿児島大学大学院 歯学総合研究科附属
難治ウイルス病態制御研究センター)

玉村啓和

(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)

WS7-033 HIV-1 放出阻害を目指したイノシトールリン脂質誘導体の創製

立石大¹⁾、安楽健作²⁾、村尾直樹¹⁾、
古賀涼子¹⁾、岡本良成¹⁾、大塚雅巳¹⁾、
藤田美歌子³⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学分野
- 2) 熊本保健科学大学保健科学部 医学検査学科
- 3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

WS7-034 HIV-1 プロテアーゼ (PR) の二量体化は2ステップで起こり darunavir の PR 二量体化阻害は最初のステップで起こる

林宏典^{1,2)}、高宗暢暁³⁾、葦澤崇⁴⁾、
青木学^{1,5)}、森下宜彦⁴⁾、
Debananda Das²⁾、こう康博¹⁾、
三隅将吾⁶⁾、満屋裕明^{1,2)}

- 1) 熊本大学生命科学研究部血液内科
- 2) NIH/NCI Experimental Retrovirology Section
- 3) 熊本大学イノベーション推進機構知的財産部門
- 4) Bruker Daltonics K. K.
- 5) 熊本保健科学大学保健科学部
- 6) 熊本大学大学院薬学教育部環境分子保健学

WS7-031 HIV-1 Capsid 蛋白の自己崩壊誘導作用を有する低分子化合物 (HIV-1 CA decomposers) の同定

天野将之¹⁾、
Pedro Miguel Salcedo-Gomez¹⁾、
満屋裕明^{1,2)}

- 1) 熊本大学医学部・血液内科学・膠原病内科学・
感染免疫診療部
- 2) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH,
DHHS, Bethesda, MD, USA.

WS7-032 新規 CCR5 阻害剤 GRL-007 の抗 HIV 活性の検討

中田浩智¹⁾、Debananda Das²⁾、
前田賢次²⁾、
Kalapala Venkateswara Rao³⁾、
Arun K. Ghosh³⁾、満屋裕明^{1,2)}

- 1) 熊本大学血液内科・感染免疫診療部
- 2) Experimental Retrovirology Section, HIV and
AIDS Malignancy Branch; National Cancer Institute,
National Institutes of Health, Bethesda, Maryland
20892-1868, USA
- 3) Departments of Chemistry and Medicinal
Chemistry, Purdue University, West Lafayette,
Indiana 47907, USA